

●●● 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
剰余金の配当(期末配当金)の基準日	毎年3月31日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 (お問い合わせ先)	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 0120-094-777 (通話料無料)
同 取 次 所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店 野村證券株式会社 全国本支店

■ 株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話及びインターネットでも24時間承っております。

電話(通話料無料) 0120-244-479 (本店証券代行部)
0120-684-479 (大阪証券代行部)

インターネットホームページ <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

公告の方法 電子公告の方法により行います。
公告掲載URL <http://www.nozawa-kobe.co.jp>
不測の事態により電子公告によることができない場合は、
日本経済新聞・神戸新聞に掲載します。

上場証券取引所 大阪証券取引所 市場第2部

表紙写真について

ノザワ本社ビルに隣接する「旧神戸居留地十五番館」は、旧居留地に現存する唯一の商館です。明治13年(1880年)に建築され、その後アメリカ領事館としても使用されたことのある歴史ある建物です。昭和41年(1966年)よりノザワが所有し、本社事務所として使用してきました。平成元年(1989年)に国の重要文化財の指定を受けたことを機にレストランとしてオープンしましたが、平成7年(1995年)の阪神・淡路大震災で全壊。ノザワは復旧工事に取り組み、倒壊前の部材の70%を使用し、さらに文化財修復初となる免震工法を採用して、3年後に建築当初の姿を復活させました。この修復には「先人の知恵を未来に活かし、真に心の通った都市景観づくりに貢献したい」というノザワの企業姿勢が込められています。



第 146 期
事業報告書
H17.4.1~H18.3.31

■ この事業報告書についてのお問い合わせは右記までお願いいたします。

株式会社ノザワ TEL 078-333-4111

創意を結集して革新的な商品を生み出し、 「やすらぎと安心の創造」をめざします。

建築・住宅・土木の3市場に根を下ろし、不燃建材のリーディングカンパニーとして、100年を超える歴史を刻んできたノザワ。「いつも新しいこと」を追求する情熱と時代の変化に対応するスピードを駆使して、さらなる「やすらぎと安心の創造」をめざします。

Quality
Technology
Network

トップメッセージ



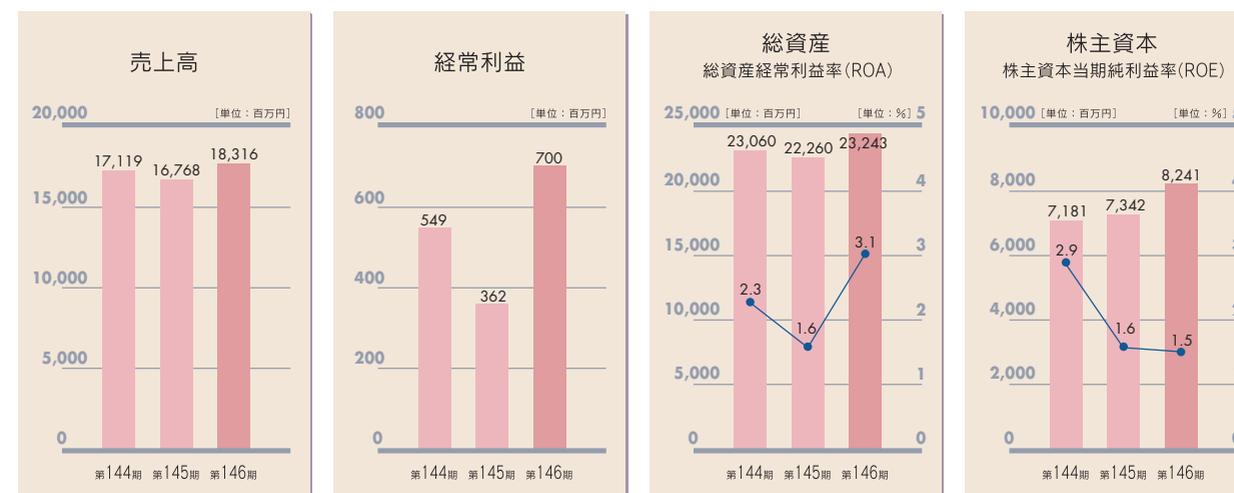
代表取締役社長
野澤 俊也

ごあいさつ

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
また、平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。
ここに、当社第146期(平成17年4月1日から平成18年3月31日まで)の事業報告書をお届けいたしますので、ご高覧いただきますようお願い申し上げます。

平成18年6月

■連結決算ハイライト



トップメッセージ

■当期の市場動向と業績

商品の差別化を推進し、増収増益を達成

わが国の経済は、緩やかな景気回復基調にあると思われませんが、当社の属する建築材料業界におきましては、自動車・家電業界の民間設備投資が拡大傾向にある半面、公共建設工事の減少などにより厳しい状況が続いています。このような状況下、当社主力商品「アスロック」は期首において自動車関連のレクサス販売店舗向けに伸長。また、スレート関連では、キッチンパネル・ユニットバス市場向けの「内装用ボード」の新商品開発を行い、販売数量拡大に努めました。

当期の新商品としましては、環境問題・省エネルギーに貢献できる高性能断熱パネル「アスロック断熱+（プラス）」、積水ハウス株式会社との共同開発による床衝撃音遮断性能に優れた乾式床材「シェルシャットスラブ」、吸放湿性や脱臭性に優れた内装仕上げ材「ふらの調湿しっくい」を市場投入、競合商品との差別化を推進し、商品群の充実を図りました。

販売部門では、石綿含有建材の除去や封じ込めに対する需要増大を踏まえ、昨年9月に「環境システム部」を

設置し、市場のニーズに応えました。生産部門では、NNPS（ノザワ・ニュー・プロダクション・システム）活動による品質向上と納期短縮、コストダウンを推進しました。管理部門では、企業価値の最大化とグループ全体の効率化を図る目的で関係会社を再編。財務面では、財務体質強化のため「シンジケートローン」を導入し有利子負債の圧縮を進め、借入金及び社債残高は前期比7億56百万円減少の68億43百万円、自己資本比率は前期比2.5ポイント増の35.5%へと改善しました。

これらの積極的な取り組みの結果、当連結売上高は183億16百万円と前期比15億47百万円の増収となりました。営業利益は8億77百万円と前期比3億45百万円の増益、経常利益も7億円と前期比3億38百万円の増益を達成。当期純利益は固定資産の減損損失を計上した結果、前期比3百万円増益の1億17百万円となりました。

【部門別の概要】

●押出成形セメント製品部門

アスロックは民間・公共工事需要の低迷により、売上高は92億98百万円（前期比2.9%減）。住宅用軽量外壁材は堅調に推移し、売上高は15億59百万円（前期比2.5%増）。

当部門の売上高は108億58百万円（前期比2.2%減）となりました。

●スレート部門

民間設備投資関連の波形スレート工事の増加及び内装用ボードの性能向上による住宅市場への販売拡大により、当部門の売上高は15億45百万円（前期比17.5%増）となりました。

●その他部門

石綿除去工事の需要増大に、専門部署の発足による営業人員の集中化と施工力の増強で対応。当部門の売上高は59億12百万円（前期比35.8%増）となりました。

■次期の取り組みと見通し

積極的な事業展開で、さらなる躍進へ

今後も引き続き厳しい経営環境が予想されますが、前期に投入した新商品に加え、タイル張りの安定性・安全性を高めた「新アスロックタイルパネル」と、アスロックの低層建物専用の工法を開発、市場展開を図ります。土木向けには、施工性とローコスト化を図った「新NLBパネル」を市場投入します。

環境システム部では、石綿除去工事に注力するとともに、既存の波形スレートを除去後、着色ガルバリウム鋼板屋根材で復旧する工法をJFE 鋼板株式会社と共同開発。試験施工物件の受注を開始します。マインケミカル事業部では、内装仕上げ材「ふらの調湿しっくい」の色調バリエーションを増やし販売数量の拡大を目指します。また、石綿や石綿含有建材を非石綿化する技術により、資源循環型社会の形成に貢献していきます。

生産部門では、NNPS活動を推進し徹底した品質管理体制のもと一層のコストダウンに取り組めます。管理部門では、引き続き金融費用・有利子負債の圧縮を推進。また経営計画実現・企業活力の向上を目的として「チャレンジライフ支援制度」の導入に加え、各人の役割・能力を最大限に発揮できるよう「管理職コース別人事制度」を導入し、より役割・成果を重視した人事制度を構築していきます。

このような事業展開により、次期は連結売上高190億円、経常利益7億90百万円、当期純利益4億20百万円を見込んでおります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ノザワの事業

- ▶ 建築向け商品**
 - 押出成形セメント板「アスロック」
 - 施工例
 - パレットタウン（ヴィーナズフォート）
 - 調布のアパートメント
 - レクサス星が丘店
- ▶ 住宅向け商品**
 - 住宅用軽量外壁材
 - 内装用ボード
- ▶ 混和材・内装左官材料**
 - モルタル専用混和材「ニューテールリング」
 - 内装仕上げ材「ふらの調湿しっくい」
- ▶ 工事**
 - 吹付けロックウール「コーベックス」
 - 耐火被覆材「ファイブル」

連結財務諸表

■ 連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	当期末	前期末
	平成18年3月31日現在	平成17年3月31日現在
■資産の部		
流動資産	7,050,693	5,923,446
現金及び預金	1,538,928	748,586
受取手形及び売掛金	3,591,201	3,123,651
未成工事支出金	506,720	603,714
たな卸資産	375,715	360,560
その他	1,044,830	1,296,060
貸倒引当金	△6,704	△209,126
固定資産	16,188,957	16,322,211
有形固定資産	12,353,141	13,355,185
建物及び構築物	3,242,735	3,733,005
機械装置及び運搬具	1,515,420	1,702,617
土地	7,399,397	7,690,107
その他	195,588	229,454
無形固定資産	73,373	93,342
投資その他の資産	3,762,441	2,873,683
投資有価証券	2,875,200	1,629,789
その他	915,168	1,394,248
貸倒引当金	△27,927	△150,355
繰延資産	3,975	14,482
社債発行費	3,975	14,482
資産合計	23,243,625	22,260,140

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

科目	当期末	前期末
	平成18年3月31日現在	平成17年3月31日現在
■負債の部		
流動負債	6,026,954	8,264,501
支払手形及び買掛金	2,610,059	2,808,392
短期借入金	1,418,550	3,668,890
賞与引当金	240,957	222,515
その他	1,757,388	1,564,704
固定負債	8,975,390	6,652,731
社債	792,000	1,180,000
長期借入金	4,245,200	2,063,750
再評価に係る繰延税金負債	2,323,396	1,938,904
退職給付引当金	777,527	682,491
役員退職慰労引当金	110,452	117,368
その他	726,814	670,217
負債合計	15,002,345	14,917,233
■少数株主持分	—	237
■資本の部		
資本金	2,449,000	2,449,000
資本剰余金	1,470,572	1,190,882
利益剰余金	294,638	666,527
土地再評価差額金	3,196,782	2,832,097
その他有価証券評価差額金	872,696	403,748
自己株式	△42,410	△199,585
資本合計	8,241,279	7,342,669
負債、少数株主持分及び資本合計	23,243,625	22,260,140

(単位：千円)

■ 連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当期	前期
	平成17年4月1日から平成18年3月31日まで	平成16年4月1日から平成17年3月31日まで
売上高	18,316,548	16,768,737
売上原価	13,133,253	11,940,992
売上総利益	5,183,294	4,827,744
販売費及び一般管理費	4,305,688	4,296,019
営業利益	877,606	531,725
営業外収益	96,736	124,644
受取利息	3,151	7,310
受取配当金	20,544	18,731
その他	73,040	98,602
営業外費用	274,023	294,368
支払利息	115,850	140,468
その他	158,173	153,900
経常利益	700,319	362,000
特別利益	362,229	264,269
投資有価証券売却益	102,787	202,639
固定資産売却益	114,737	1,055
投資有価証券償還益	—	880
貸倒引当金戻入益	144,703	59,694
特別損失	571,345	459,046
投資有価証券評価損	—	455
固定資産除却損	15,983	56,606
固定資産売却損	24,772	46,272
投資有価証券償還損	—	972
課徴金	—	354,740
減損損失	530,589	—
税金等調整前当期純利益	491,203	167,223
法人税、住民税及び事業税	222,618	169,003
法人税等調整額	151,093	△115,615
少数株主損失	—	69
当期純利益	117,492	113,905

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

■ 連結剰余金計算書

(単位：千円)

科目	当期	前期
	平成17年4月1日から平成18年3月31日まで	平成16年4月1日から平成17年3月31日まで
■資本剰余金の部		
資本剰余金期首残高	1,190,882	1,190,882
資本剰余金増加高	279,690	—
自己株式処分差益	279,690	—
資本剰余金期末残高	1,470,572	1,190,882
■利益剰余金の部		
利益剰余金期首残高	666,527	617,045
利益剰余金増加高	117,492	113,905
当期純利益	117,492	113,905
利益剰余金減少高	489,381	64,423
配当金	44,669	44,680
土地再評価差額金取崩額	444,711	19,742
利益剰余金期末残高	294,638	666,527

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	当期	前期
	平成17年4月1日から平成18年3月31日まで	平成16年4月1日から平成17年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	992,850	638,957
投資活動によるキャッシュ・フロー	132,493	△27,059
財務活動によるキャッシュ・フロー	△335,000	△505,680
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額	790,342	106,217
現金及び現金同等物の期首残高	748,586	642,369
現金及び現金同等物の期末残高	1,538,928	748,586

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

単体財務諸表

■ 貸借対照表

(単位：千円)

科目	当期末	前期末
	平成18年3月31日現在	平成17年3月31日現在
■ 資産の部		
流動資産	6,822,150	5,631,550
固定資産	15,852,786	16,497,631
有形固定資産	12,351,925	13,355,034
無形固定資産	72,809	93,300
投資その他の資産	3,428,050	3,049,296
繰延資産	3,975	14,482
資産合計	22,678,911	22,143,664
■ 負債の部		
流動負債	5,679,844	8,153,467
固定負債	8,918,168	6,565,041
負債合計	14,598,012	14,718,509
■ 資本の部		
資本金	2,449,000	2,449,000
資本剰余金	1,190,882	1,190,882
利益剰余金	570,124	680,238
土地再評価差額金	3,196,782	2,832,097
その他有価証券評価差額金	811,343	403,748
自己株式	△137,233	△130,811
資本合計	8,080,899	7,425,154
負債及び資本合計	22,678,911	22,143,664

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

■ 損益計算書

(単位：千円)

科目	当期	前期
	平成17年4月1日から平成18年3月31日まで	平成16年4月1日から平成17年3月31日まで
売上高	15,040,708	14,946,194
売上原価	10,457,073	10,412,974
売上総利益	4,583,634	4,533,219
販売費及び一般管理費	3,945,540	4,070,086
営業利益	638,094	463,132
営業外収益	124,365	170,425
営業外費用	288,403	320,675
経常利益	474,057	312,882
特別利益	702,020	327,910
特別損失	474,240	418,060
税引前当期純利益	701,838	222,732
法人税、住民税及び事業税	146,077	168,059
法人税等調整額	174,417	△112,871
当期純利益	381,342	167,544
前期繰越利益	633,493	532,437
土地再評価差額金取崩額	△444,711	△19,742
当期末処分利益	570,124	680,238

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

■ 利益処分

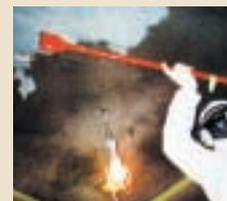
(単位：円)

科目	当期	前期
	平成18年6月29日	平成17年6月29日
当期末処分利益	570,124,300	680,238,804
これを次のとおり処分いたします。		
利益剰余金	70,078,701 (1株につき3円)	46,744,944 (1株につき2円)
次期繰越利益	500,045,599	633,493,860

C L O S E U P

CLOSE UP 1

屈指の総合力を活かしたアスベスト対策事業



【アスベスト処理工事】

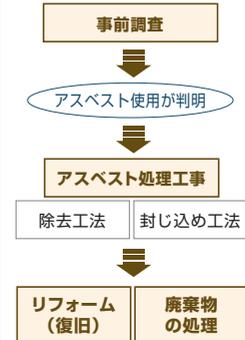
全国で深刻化するアスベスト(石綿)問題。ノザフはアスベスト除去工事にいち早く取り組み、卓越した技術力と実績を築いてきました。2005年9月には、アスベスト処理のスペシャリスト集団である「環境システム部」を設置。アスベスト処理からリフォームまでを一貫して担当できる体制を実現し、全国から続々と寄せられる受注に対応しています。

アスベスト処理の第一ステップとなる「事前調査」では、アスベスト使用の有無の判定

及び適切な工事方法を選択。その後の処理工事では、専門的な技術力を駆使して、アスベストを取り除く「除去工事」、もしくはアスベストの表面に固化剤を塗布する「封じ込め工事」を行います。工事で発生したアスベスト廃棄物は、厳密な管理のもとで最終処理場へ運搬。また、アスベスト除去後の復旧も、ノザフの誇る耐火被覆材「ファイブル」「コーベックス」で対応し、万全のリフォームを行っています。

さらにノザフは、2005年4月にアスベストの改質・再生を推進する「マインケミカル事業部」を発足。アスベストを含有する鉱物や建材のリサイクルに貢献できる技術の実用化にも取り組んでいます。

アスベスト処理工程



CLOSE UP 2

時代を見据えて進化する「アスロック」

「アスロック」は、ノザフが1970年に日本で初めて量産化に成功した押出成形セメント板です。軽量・高強度で、耐火性はもとより耐候性、遮音性、耐震性に優れ、発売から30年以上にわたりトップシェアを堅持しています。このロングセラーを支えているのは、時代のニーズに対応した「進化」への挑戦です。近年では、多彩な設計ニーズに応えるため、アスロックの表面にタイルを貼った「タイルパネル」、フッ素樹脂塗装を施した「カラーフロン」、また、最先端の意匠に対応すべく押出成形の特性を活かした「デザインパネル」などの意匠性の高い商品をラインナップしています。

日経BP社発行の建築総合情報誌「日経アーキテクチャ」2005年11月28日号では、「採用したい建材・設備メーカーランキング」の外装材部門第2位に選ばれました。品質もさ

ることながら、アスロックのデザイン性が高く評価された結果といえます。

また、環境問題への取り組みとして、既に発売中の「外断熱工法」に加え、ハイクオリティー断熱パネル「アスロック断熱+ (プラス)」を開発、2006年から発売を開始しました。この「アスロック断熱+」は、地域に応じて2種類の断熱材を用意し、当社工場でアスロックと断熱材をパネル化して供給する商品。アスロック単体と比べ、外壁としての断熱性能が寒冷地仕様で3.5倍、一般地域仕様で3倍と格段に向上。さらに、工期の短縮や分別・解体の容易さ、内装工事の完全乾式化、また、室内住環境の向上と省エネルギー化を実現する画期的な商品です。



【アスロック】



【六本木ヒルズレジデンスB】

会社概要 [平成18年3月31日現在]

社名	株式会社ノザワ NOZAWA CORPORATION
創業	明治30年8月17日
設立	大正2年9月28日
資本金	24億4,900万円
従業員数	367名(連結)
子会社	株式会社ノザワ商事 株式会社ノザワトレーディング

ネットワーク

●本社：〒650-0035 神戸市中央区浪花町15番地 tel/078-333-4111(代)

支店・営業所

札幌支店：札幌市中央区大通西1丁目14番2(第2有楽ビル)
 仙台支店：仙台市青葉区本町1丁目1番8号(第一日本オフィスビル)
 岩手営業所：盛岡市内丸16番15号(内丸ビル)
 東京支店：東京都中央区新川1丁目24番8号(東熱新川ビル)
 高崎営業所：高崎市あら町116番1号(第一生命ビル)
 静岡営業所：静岡市駿河区稲川1丁目1番32号(グランドウール稲川II)
 名古屋支店：名古屋市西区名駅3丁目10番17号(IT名駅ビル2号館)

研究所

技術研究所：埼玉県深谷市大字折之口字稜威ヶ原1851番地4

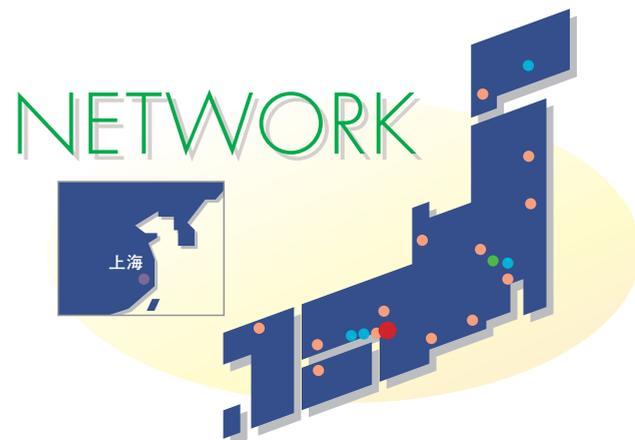
工場

フラノ事業所：北海道富良野市字山部1596番地4
 埼玉工場：埼玉県比企郡吉見町大字長谷1947番地
 播州工場：兵庫県加古郡播磨町古宮
 高砂工場：兵庫県高砂市高須1番1号

海外駐在所

上海駐在所：上海市江蘇路369号 兆豊世貿大廈2503

役員	代表取締役社長	野澤 俊也
(平成18年6月29日現在)	専務取締役	吉田 慎祐
	専務取締役	佐々木 三七司
	常務取締役	南 昭二
	取締役	田 淵 義章
	取締役	山 口 幸久
	取締役	三 原 伸夫
	取締役	喜 田 牧男
	取締役	豊 田 和冲
	常勤監査役	大 西 努
	監査役	久 須 剛昭
	監査役	出 島 信彦
	監査役	堀 田 昌展



株式情報 [平成18年3月31日現在]

会社が発行する株式の総数	60,000,000株
発行済株式の総数	24,150,000株
株主数	2,827名

大株主

株主名	持株数(千株)	議決権比率(%)
日本興亜損害保険株式会社	1,749	7.52
大阪証券金融株式会社	1,748	7.52
日本生命保険相互会社	1,744	7.50
株式会社三井住友銀行	1,153	4.96
東京海上日動火災保険株式会社	724	3.11
CBC株式会社	603	2.59
神栄株式会社	594	2.55
三井住友海上火災保険株式会社	577	2.48
ノザワ従業員持株会	577	2.48
日工株式会社	568	2.44

(注) 当社は、自己株式790,433株を保有しております。



ホームページのご案内

ノザワのホームページでは、最新のIR情報はもちろん、経営方針や事業活動、商品及び施工例などの多彩な情報を発信。また、「アスベスト情報サイト」では、アスベストに関する不安・疑問にお答えすると同時に、調査や除去工事も紹介しています。ノザワのリアルな“今”をご理解いただくために、ぜひご覧下さい。

URL <http://www.nozawa-kobe.co.jp>

株式分布状況

所有者別株主数



所有者別持株数

